



第6回ジュニアヨットクラブジャンボリー2018

実施報告書

実行委員長 筒井洋二

1. はじめに

ジュニアヨットクラブジャンボリーも6回目を迎えました。第1回から第4回までは静岡県浜名湖畔の三ヶ日青年の家を中心に開催していましたが、昨年度は同施設が利用できない為開催を中止しました。

実行委員会ではいろいろと場所を調査して、今年度は茨城県行方市で開催する事が出来ました。

初めての地でのジャンボリー開催に際し、茨城県セーリング連盟様の共催を頂き、更に地元行方市の全面的なご協力により、大会を無事終了することが出来ました。

また、海洋活動拠点と宿泊施設が離れていることで、保護者の皆様には従来に増してご協力を頂き、皆で作らせた活動となりました。改めて関係各位に御礼を申し上げます。



順風満帆



セールオン



筑波山を背景に



2. 概要

2018年5月3日（憲法記念日）～5日（子供の日）の2泊3日で開催されました。

海洋活動は霞ヶ浦ふれあいランド、宿泊は茨城県立白浜少年自然の家。

今回の目的&ねらいは下記の通りです。

- ① 共同生活により青少年の心身の育成を図る。
- ② 環境保全を目的として、自然と親しみ維持していく。
- ③ 明るく大きな声であいさつを行う。
- ④ 保護者・コーチの交流を深める。



霞ヶ浦ふれあいランド



茨城県立白浜少年自然の家

3. 参加者及び乗艇艇種

5チームより参加。選手 22 名（男性 13 名、女性 9 名）、指導者・保護者 23 名、幼児 1 名、役員・コーチ 12 名の総勢 58 名参加となりました。

3 日の開会式には連盟の佐藤精知夫副会長と伊藤雅宣専務理事も出席しました。

活動艇種は OP 級ディンギーのほか、カヌー、ハンザクラスを準備し、保護者の方にも乗艇頂きました。更に地元祭り開催にて、パラセールの体験、ペダルボートでの練習観戦等企画致しました。

（参加クラブと人数）

葉山町セーリング協会	選手 17 名	指導者・保護者 17 名	同伴子供 1 名
横浜ジュニアヨットクラブ	選手 1 名	保護者 1 名	
江東区立小中学校セーリング部	選手	保護者 1 名	
三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブ	選手 2 名	保護者 2 名	
NPO 法人横須賀ヨット協会ジュニアヨットクラブ	選手 2 名	指導者・保護者 2 名	

今回のジャンボリーの募集呼びかけを機会に当連盟に新しく入会され、クラブ登録をされた NPO 法人横須賀ヨット協会ジュニアヨットクラブの選手、指導者。保護者も参加して頂きました。

4. ヤングコーチの存在

元 OP 級セーラーで活躍したヤングコーチに直接的な指導を依頼するとともに、昼夜子供たちと生活を共にして楽しい時間を共有できたと思います。

普段大人からの指導が中心となってしまいましたが、宿泊を共にしての生活にて子供たちの生活指導もして頂きました。

ヤングコーチ紹介



堤 たくみさん



渡辺桜香さん



小山すみれさん

5. 実施内容

5月3日（憲法記念日）初日

前日より悪天候が予報されており、8:30 集合の時点で本日の海洋活動は中止と判断しました。

9:30 受付を開始し、オリエンテーリングを開催しました。連盟中川常務理事より開会宣言を頂き、選手を A、B、C の三班に分け、それぞれの担当コーチを紹介し、概要を説明しました。

10:00 開校式：行方市長鈴木周也様、同教育委員会木下課長様、茨城県セーリング連盟中村幸一理事長様においでいただき、開会式を開催しました。鈴木周也市長様より『行方（なめがた）という地名が読みにくいために、「行方不明の市長」と言われております。来年度の茨城国体では霞ヶ浦がセーリング会場となります。』などユーモアを交えてのご挨拶を頂きました。また中村幸一理事長様より『湖面は海上と違います。色々な体験をしてみてください。』とのお話を頂きました。

また連盟の佐藤精知夫副会長から開会に際し、『20 年前に国際大会を開催したこの地でジャンボリーが開催できることを喜んでいます。』との挨拶を頂きました。



A チーム 7 名 原田コーチ
江東区渡辺コーチ
堤コーチ



B チーム 7 名 元コーチ
葉山町浅野コーチ
横浜 Jr 齋藤コーチ



C チーム 3 名 (後 7 名) 竹腰コーチ
桜香コーチ
小山コーチ



鈴木周也行方市長



中村幸一茨城県セーリング連盟理事長



佐藤精知夫副会長

開会式終了後、宿舎である茨城県立白浜少年自然の家へ早めに移動し、昼食をとり、その後大研修室で入所式（はじめのつどい）を開校。『自分のことは自分でやる。使用したものはきちんと片付ける。ほかの利用者との共同生活にてお互いに気遣いしながら楽しんでください。』とのご挨拶を頂きました。

その後各自部屋へ荷物を置きました。部屋割りは、男子選手、女子選手、JJYU 役員、男性コーチ+保護者、女性コーチ+保護者と分けました。

14:00 体育館に集合して陸上トレーニングを遊びの中で実施。元コーチの指導でお手玉を使った三目並べゲーム、競歩リレー、ソフトドッジボールと歓声の中、勝敗を競いました。



はじめのつどい



体育館での活動



三目並べゲーム

18:00 入浴にてさっぱりした後に夕食



19:00 ミーティング：JJYU 原田理事が講演を行いました。



原田理事の講義を聴く選手・保護者

JJYU 原田理事講演：「大学から始めたヨットを生涯の趣味として楽しんでいることを仲様に感謝しています。そして今は「ハンザクラス」の競技者として活動しています。皆さんも生涯の楽しみとしてヨットを続けてください。」

その後各チームに分かれて反省会を行いました。

5月4日（みどりの日）二日目

6:30 起床、7:00 つどいの広場でラジオ体操、朝食



8:00 出発し、8:30 ふれあいランド到着。朝方より快晴、この日は終日海洋活動を行いました。

9:00 午前練習開始

午前中は軽風～微風～無風状態の中、パラセーリングとエリアが共用して必要な練習湖面を取れないため、早めに終了し午後に備えました。

13:00 午後練習開始

A チーム、B チームは霞ヶ浦大橋反対側（風も良好）にて練習を行いました。

徐々に東寄りの風が吹き上がり 7～8M、ブローで 10M の風となり B チームでは艇のコントロールが難しくなる選手も目に付いてきました。

C チームは選手 3 名に、同伴として参加した子供たち 4 名も選手として一緒に練習に参加。

「まずは乗ってみようー！」との掛け声で試乗会も同時進行。



晴天の中、艀装終了後順次出艇を行う。



午前中は軽風より徐々に落ち、一時無風状態となる。



午後は徐々に風が上がり、良い練習となる。

一方、行方市の広報紙を通じて呼びかけた体験試乗会は、ハンザクラス経験豊富な原田コーチが乗艇し、地元行方市の身がいのある方に乗船体験を頂き好評でした。

乗船頂いた4名は皆さん初体験で乗船前はとても緊張されておりましたが、乗船後はとても明るく楽しい顔をされておりました。



はい、ポーズ！

また、地元「なめがたエリアテレビ」(行方市がサービスを提供するエリア放送)が、前日に続いて撮影に来られ、参加者全員で元気に記念撮影を行いました。地元でしか視聴できないとのことですが、参加者たちの元気なセーリングの様子が近日オンエアの予定です。



19:00 キャンプファイアー

入浴、夕食をすませた後、待ちに待ったジャンボリー夜のイベント「キャンプファイアー」です。

まずは“火の神”が登場し、積み上げられた薪に火をつけると、火に照らされた子供たちの笑顔が浮かびあがりました。幻想的な炎に見とれているうちに、かわいい“お菓子の神”も現れて皆にお菓子を配りました。そしてアトラクションでは葉山町セーリング協会の有志が先輩より代々引き継がれている？“タックダンス”を披露。「押～す」の掛け声でくると回る踊りを繰り返し、最後に「引～く！！」で終了。ユーモラスなダンスに参加者全員が笑いながら拍手を送っていました。



19:40 チーム別ミーティング&指導者研修会



A チームブリーフィング B チームブリーフィング C チームブリーフィング 指導者研修会

A チームは一人ひとりの目標と、それに対する取り組みを発表していました。

B チームは「湖は海に比べて波が小さい」「艇が海よりも沈む感じ」などを発表していました。

また、葉山町浅野コーチより乗艇時の姿勢の説明がありました。

C チームは全く初めて乗艇した子供も4名おり、「まずは乗ってみよう」と元気いっぱいでした。

指導者研修会では JJYU 中川常務理事より子供たちに対する指導のあり方についてお話がありました。

5月5日（こどもの日）三日月

6:30 起床、7:00 つどいの広場でラジオ体操、朝食

8:30 大研修室で退所式（まとめのつどい）が行われ、『世界で活躍するセーラーに！』と激励を頂きました。

『 みなさん自分のことをしっかりと行い、綺麗に片づけて頂きました。』とのお言葉も頂きました。



まとめのつどい



9:30 本日のミーティングを行った後、練習開始。

C チームでは 3 艇の OP に 2 名ずつ乗艇し、気持ちよく湖面を走り回っていました。

11：30 スロープが狭いために、C チームから順次スロープに帰り始め、最後に A チームが帰り、海面での練習が終了しました。

その後、使用した艇の洗浄を行い、昼食を挟んで艇や荷物を車に積み込むなどの帰り準備を行いました。

13:00 練習を終了。



カレーと冷たいトマトの昼食に舌鼓

その後成果発表と閉会式



A チーム

湖面でのセーリングは
勉強になりましたか？
また一緒に練習しよう！

B チーム

微風～強風まで色々な
セーリングをしました。
大きな成果がありました。

C チーム

初めてヨットに乗った
友達、そしてサポート
してくれた友達。感謝！

13：45 閉会式

野村委員の司会のもとで閉会式が開催され、3 日間での活動の締めが行われました。

海上で活躍した選手、グッドマナーの選手、遠距離から参加した選手やペダルボートで活躍したママさんグループなどが紹介され、副賞が授与されました。

最後に実行委員長筒井の締めの言葉で、散会となりました。



終わりに

今回のジャンボリーでは、海洋活動施設と宿泊施設が離れていることにより、保護者の皆様に移動のご協力を頂きました。また、新しい慣れない場所での開催で、行き届かないところも多々ありました。

しかし皆様のご協力のもと、今回のジャンボリーは、各クラブのコーチ、保護者の方々、JJYU メンバーが一体となって運営出来た楽しい大会でした。

また三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブ指導者である岩井一樹様には、遠方よりお越しいただき、生活全般をご指導いただきました。

ヤングコーチとして担当頂きました堤たくみさん、渡辺桜香さん、小山すみれさんの心のこもったご指導にも感謝申し上げます。 今後も楽しいジャンボリーを企画してまいります。

ご参加の御礼を申し上げますとともに今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上